

(様式第2号)

目標達成計画票(事業所記入)

事業所名グループホーム 次郎ん家

作成日: 平成 22 年 1 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	・メニューが利用者様希望になっていない。利用者の希望を聞いていたが長続きしない。 ・メニューに季節感がない ・食事の時間の雰囲気は家庭的でない。業務的で施設化している。 ・調理に係わる機会が少ない。一緒にすることがトラブルにつながる。 調理への関わりが下ごしらえ・つぎ分けだけに限られている。利用者の能力に応じた関わりが難しい。	・利用者の希望に沿った食事の提供 ・食事を通してスタッフと利用者・利用者同士のコミュニケーションの場とする。 ・利用者の調理への参加が日常的な日課として組み入れられる。	・料理の本などを見ながら利用者様が食べたいものを聞く。(各ユニットに責任者を立て途絶えないようにする)・食事前にメニューの説明(作り方・材料・旬の話)などを紹介する。利用者様と一緒に ・月に一回は、食材の買い物を利用者様と共に行う。下ごしらえ・味付け・つぎ分けなど利用者様の能力に応じ対応する。トラブルが起こらない様にグルーピングする。 おやつ作り(火曜日・金曜日)とともに定例化する。	2ヶ月
2	1	・地域との交流の機会が少ない。利用者の重度化・ターミナル介護が多く、外出の企画が困難	・ホームでの暮らしの中に地域の方との交流が当たりまえとなる様に基盤をつくる。	・ホーム内の行事に地域の方に来て頂くよう働きかける。 ・地区の夏祭りへ参加。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。